



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを きゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

〔 天から授けられた未来の言葉”霊性言語” 〕
～ 意識(心)・第六感・直観(直知)・直感・心眼 ～

〔 地域コミュニティ宣言 〕

今	ここは(保育園) うるおいのある 心とところが	街の小さなコミュニティ ところで ふれあうところ
また	心の昂りが	育まれるところ
そして	共にくらす 助け育ちあう	仲間たちが ところ
だから	ここは ここに 私たち	私たちの家 くらす仲間たちは 家族のひとり

私の人生をふり返って見ますと、50年以上の前の時代から、
保育園は”家であり、家族であり、社会でもある”と唱ってきました。そして
”ふれあい・みまもり” ”いたわり・はげまし” ”うるあい 安らぎ”
のある思いやりの心を大切にしてきました。

だから、”子ども・保護者・子育て仲間たち” 共にここにくらす仲間たちが
”助け育ちあう人”に育ってくれたのでしょう。

ばら組(0歳児)さんの時代からクラスの仲間たちとの語りあい、
他のクラスのお兄さん、お姉さんたちとの非言語コミュニケーションを取り合うことができるのです。
人の心、喜びや哀しみを感じている人たちにもすぐに感覚で思いやりの心を示してくれるのです。
それを”霊性言語”と言います。



笑ったかす一番
遊んだかす一番

だっこされたかす一番
でかけたかす一番

やさしくされたかす一番
チャレンジしたかす一番

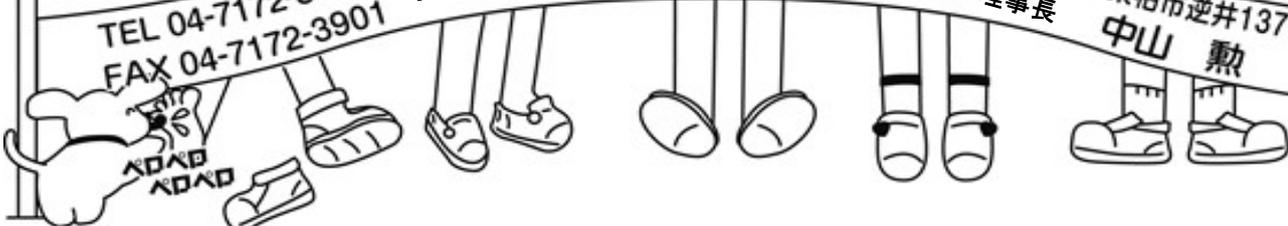


E-mail doushinkai@doushinkai.jp URL <http://doushinkai.jp>

TEL 04-7172-3939
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1
理事長 中山 勲



私たちヒト(ホモ・サピエンス)は、未成熟なまま生命を授けられてすぐに
”天性の言語”が与えられて母親と対面します。
非言語コミュニケーションなのですが”表情・仕草・態度・天使の微笑み”などで
愛情ホルモン オキシトシンをふりまきながら語り合っているのだそうです。
そしてヒト属の子どもたちは、「五感と六識の刺激を受けながら0歳からの人創り」に励むのです。
天性の言語”霊性言語”を育みながらです。
私は令和7年度3月のある園の卒園式で、
「天から授けられたAI時代の未来の言葉”霊性言語”を学ぶ必要性」を伝えました。
”霊性言語とは”意識(心)・第六感・直観(直知)、直感、心眼”のことを言います。

私は昔からいつも良く人に聞かれました。
「まだ何も知らない0歳からの子どもたちが何を学ぶのですか？」
私は次のように答えました。
「ヒトは未成熟なまま生命を授けられてから
”二足自立歩行”を獲得するまでの約400日間を”五感と六識”を刺激しながら学び続けています。
そして具体的には次のようになりました。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1) 見る・観せる(五感知) | 6) たおやかな かかわり(いたわり・はげまし) |
| 2) ときめき・あこがれ(成功体験・失敗体験) | 7) できる・できた(経験知) |
| 3) 励まし・称賛(体験知・成功体験・失敗体験) | 8) 感動(ときめき・あこがれ・感動知) |
| 4) おおらかなやりとり(存在の承認・関係知) | 9) 感喜(関係知) |
| 5) しなやかなうけこたえ(感性知) | |

このようにしてヒトは、”人の成り立ちの歩み”を歩き始めているのです。
そうして子どもたちは10歳頃までに「人格・人間性・人生観・主体性(Agency)」の基盤が創られるというのです。
そしてまた人間科学に基づく考え方では、5歳頃までには脳細胞の90%が創られるのだそうです。

そして”天性の霊性言語”は消えていくものであると考えられてきました。
しかし、現代の科学では”消滅”するのではなく、
言語の獲得、認識力が高まると使わなくなるので”消失する”というのです。
私の長い人生の中で培われてきた直観(直知)では、次のように考えています。
この”AI時代”の中で身につけなければならない”智慧(実人生を生き抜く力)”とは、
To know(知ること・知識)ではなく、Sense(五感・直感)・Feel(知覚)で
”世界の物事”を感じる感性を大切にすることだと確信しています。
難しいことを長くお話ししてきましたが、私が言いたいことはただ一つです。

「一人ひとりが課題を見つけ 自ら考え 自ら学び 一日一生を生きる」
「0歳児(ばら組)さんのように”一日一生”という真剣な生き方をしましょう」
という大切な言葉をこの入園式という晴れの舞台に送りたいと思ったのです。

ご入園、おめでとうございます。

今日もまた一日一生を念じながら
すべての仲間たちの Well-being” !! 幸せになろうね！幸せになろうよ！”と
祈り願い続けていくつもりです。どうぞいつまでもお幸せに!!

令和8年 4月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲